

# 陽だまり

## 二つのテーマで学習会 6月30日 第28期第1回学習会

先輩労働者の血と汗の闘いで、いまの労働者の権利の存在がある！



新野会長の説明と熱心に学習する組合員

2012年6月30日15時より、今年のはじめての札幌パートユニオンが主催する学習会に組合員20名が参加して開催されました。

今回のテーマは①有期雇用に関する労働契約法改正案と②労働組合運動の歴史で、講師は新野会長です。

①有期雇用から無期雇用に転換させる労働契約法改正案が今度の国会に出されるが、法案の内容が極めて不十分、問題も多く抱えており、これらの多くの問題点を指摘し、抜

本的な修正と改善をはかるべきであり、なによりも有期雇用は臨時的・一時的業務に限定し「入口規制」を設けるべきとの提起がなされました。

②労働組合運動の歴史では、歴史の推移として原始共同社会⇒奴隷制社会⇒封建社会⇒資本主義社会へと移り、生産性の発達によって新たな階級社会が生まれてきたこと、生産性が極限に発達した資本主義社会は矛盾が激化していくこと、最終的には階級がなくなり、国家が消滅し戦争もなくなり人類の共同と英知を積んだ社会に到達する。

労働組合の発祥の地、イギリスにおいて産業革命後、資本家の搾取と悲惨な労働実態、日本では戦前の弾圧された労働組合運動、戦後の民主化のなかでの労働組合運動の歴史を説明し、我々先輩労働者の苦勞と血と汗の闘いのなかで、現在の働く者の権利が確立してきていること、これからも格差と貧困のない社会をめざし労働組合の活動を広げて、労働者の連帯の輪を広げていこうと訴えました。

学習会終了後は、同会場において、手作りの料理を用意して飲んで食べて恒例の交流会を開催して親睦を深めました。



# 脱原発へ！パートユニオンも取り組みます

## ☆9月1日（土）第2回学習会

### 18時から 3階新事務所に集合 20時から交流会

「脱原発を考える—脱原発運動の現状を知ろう。原発問題に対して思うことを出し合おう。」

## ☆さようなら原発北海道1万人集会

主催：さようなら原発 1000万人アクション北海道実行委員会

### 10・13（土）13:00～ 大通り西8丁目広場

北海道平和運動フォーラムはこの集会に取り組んでいます。札幌パートユニオンは「脱原発と平和と民主主義を守る取り組み」の今期活動方針にのっとり、連合のエネルギー・環境政策への行動の一環として、また平和運動フォーラムの一員として、「さようなら原発北海道1万人集会」に全力で取り組みます。ぜひ参加しましょう！

毎週金曜日、東京では首相官邸前で、札幌では道庁北門前で

「原発反対！再稼働反対！」の抗議行動続く



東京では政府による大飯原発再稼働決定を前後して、毎週金曜日継続して首相官邸前で反原発の抗議行動が行われています。さらに7月16日には「さようなら原発10万人集会」に17万人ともいわれる労働者・市民が集まり、7月29日には国会前に主催者発表20万人の人々が「原発やめろ、再稼働反対！」の声をあげて行動しました。「野田政権打倒」のプラカードもあったようです。

いま札幌でも毎週金曜日の夜、北海道庁北門前で、再稼働反対！原発反対！と訴える、市民の抗議行動（主催：北海道反原発連合）が続けられています。7月27日にはパートユニオンの組合員もこの抗議行動に参加しました。

帰りに居酒屋で参加者たちは、参加して良かったなど感想を出しあい、泊原発の再稼働の動きにたいして抗議するだけでなく、なぜ人々の声を無視して再稼働するのか考えようなどと話をしたとのこと。

第2回学習会では組合員同士で現状を知り、原発問題を語り合ひましょう。そして10・13には「1万人集会」に参加して、脱原発、泊原発再稼働反対の声をあげていこう。（Y）

—写真は1月の脱原発デモに参加するパートユニオンの組合員—



## 「札幌パートユニオン 夏季セミナー」

8月2日の幹事会で、「札幌パートユニオン夏季セミナー」として以下の二つの集まりへの参加に取り組むことにしました。

終わっちゃったけど・・・8月11日(土)「市民が主役」の政治を取り戻す道民フォーラム

「真の『社会保障と税の一体改革』とは」 宮本太郎 さん(北海道大学大学院法学研究科教授)

「脱原発時代の北海道のポテンシャル」 吉田文和 さん(北海道大学大学院経済学研究科教授)

「政権交代とは何だったのか」 山口二郎 さん(北海道大学大学院法学研究科教授)

自治労会館で行われたこのフォーラムには、新野会長をはじめ5名の組合員が参加しました。

これからだよ・・・8月29日(水)札幌地区連合 なるほどセミナー第8回

18:30～ 自治労会館

「オスプレイ配備に見る日米軍事同盟」 前泊博盛 さん(沖縄国際大学教授)

米軍が沖縄への配備を予定するオスプレイ。その役割と危険性が大きな問題になっている。日本政府は日米安保同盟を理由に、配備に口出しは出来ないと言う。講師が教鞭をとる沖縄国際大学は、オスプレイ配備が予定され、世界で最も危険な飛行場と言われる米軍普天間基地に近く、2004年には米軍ヘリ墜落事故が起きている。講師は元琉球新報記者・論説委員。皆で勉強しましょう！

今年もコミュニティ・ユニオン全国ネットワークの全国交流集会が開かれます。

## 第24回コミュニティ・ユニオン全国交流集会 in 京都

### 「無縁社会を生きる、コミュニティ・ユニオンの希望！」

9月15日13:30～・16日12:00 京都テルサ(京都府民総合交流プラザ)

15日(土) 第一部 講演 神田香織(福島出身の講談師) 「福島原発震災―被災者のさけび―」

第二部 コミュニティ・ユニオン全国ネット定期総会

第三部 懇親会

16日(日) 分科会

- ① メンタルヘルス 1 パワーハラスメントをなくすためにできること
- ② メンタルヘルス 2 精神疾患の労災認定は難しくない?
- ③ 有期雇用、法律や裁判所の限界を超えて どうすれば当事者が元気になるか
- ④ 争議対策 生活を支えるセーフティネットの使い方
- ⑤ 労働相談対策・行政トラブル110番
- ⑥ 組織運営 みんなの知恵をパクリましょう
- ⑦ 組織化 「潰されない組合結成」
- ⑧ 均等待遇、職務評価 ケアワーカーの仕事と賃金を考えよう
- ⑨ フィリピントヨタ労組の闘いの現状と交流
- ⑩ 職場の人権 無縁社会を生きる、コミュニティ・ユニオンのきずな
- ⑪ 自由討論の場 「3.11後 橋下イズムまで」
- ⑫ ぼちぼち手芸工房 タワシとリメイク小物



## 有期雇用の抜本的な規制を！ 欠陥だらけの労働契約法改正案が成立！

日本では非正規雇用（ほとんどが有期雇用）が増加しています。

他の先進国では労働契約は無期を原則、有期は合理的な理由がある場合に限定しており、このため我々は、有期雇用に抜本的に規制させる闘いを進めてきました。私たちの運動に押された政府は、ようやく有期雇用の規制に動き出し、法律によって有期から無期へ転換するための措置をとることになったものの、内容には、多くの問題点があり！しかも、今国会でまったく討議もされないままに、欠陥を抱えた内容で改正案が成立しました。

### 労働契約法の改正内容を見ると

①**無期契約へ転換** 5年を超えて反復更新された場合は労働者から申込みをしたときに無期契約に転換させる。但し、6月（1年以内の契約は2分の1）の空白期間（クーリング期間）があるときは、前の契約期間は通算しない。

②**雇止め法理の法定化** 反復更新により無期契約と実質的に異なる場合と継続への期待権が認められた場合は労働者から申込みをしたときに（期間満了後の場合は遅滞なく申込み）、申込みの拒絶が合理的理由等を欠くときは雇止めの無効。

③**不合理な労働条件の禁止** 無期雇用労働者との労働条件の相違は職務の内容、配置の変更等を考慮して不合理としてはならない。



### ここが問題だ！！

①5年は極めて長すぎますし、3年以内にすべきです。しかも「労働者の申し出による」との限定であり、無期雇用に「自動的に転換」すべきです。

さらに「5年超えたら更新しない」とか、途中で「次回は更新しない」など不更新条項に合意させられる懸念があり、雇止め濫用禁止の規定を入れるべきです。

最大の問題は、契約が満了し次の契約までの間、空白期間（クーリング期間）を設定しており、空白期間があるときは、前の契約期間は通算されません。

予測されるのは、細切れの雇用期間の繰り返しによって、無期転換権を行使できなくなり、まさに脱法行為が可能となります。空白期間の設定は断じて認めることは出来ない。

②雇止め判例法理を盛り込むことには評価しますが、「申込みをしたとき、期間満了後の場合は遅滞なく申込み」の要件を入れており、これは判例法理にないものであり、申込みをしなかった場合は契約が更新されません。判例法理を忠実に挿入すべきです。

③職務の内容、配置の変更等を考慮の要件が入っていて、均等待遇の実効性は難しい。

以上、欠陥だらけの法律ですが、今後、雇止めの濫用が予測されますので、ユニオンとしては、有期雇用労働者に呼びかけて、雇止め法理をふまえて雇止めの濫用を許さない取組みを進めて、さらに有期労働契約は臨時的・一時的業務に限定し、有期雇用に抜本的に規制する運動を大きく広げていきます。（新野会長）



## 有期雇用制度の抜本的規制を！

ユニオンも主催実行委に加わっています。 **ぜひ参加しよう！！**

# これでいいのか！有期労働・市民集会

主催：実行委（日本労働弁護団北海道ブロック 札幌パートユニオン 札幌地域労組 ローカルユニオン結）

**10月9日(火) 18時～ 自治労会館（北6西7）**

これまで細切れで不安定な有期雇用制度の抜本的な規制が、労働運動の側から要求されてきました。ようやく政府は動き出し、8月3日に参議院で改正労働契約法が可決・成立しました。しかしその改正内容は本号4頁の記事にあるように問題の多いものです。

有期雇用を抜本的に規制させる運動をいっそう進める必要があります。労働弁護団や地域の労働運動の仲間とともに集会を成功させましょう！シフトの休みを取ったり、仕事を終えたあと駆けつけて、ぜひ参加しよう。

## パートユニオン「タイキン労働何でも電話相談」

毎月第3金曜日 17時から21時 3階新事務所

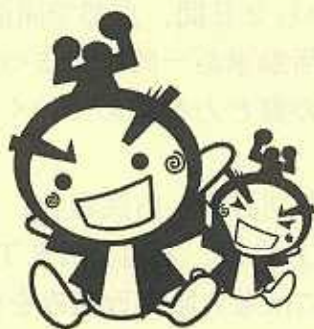
札幌地区連合のさっぽろ労働相談センターと連携して、退勤後に労働相談を！と地域の労働者にアピールします。専従幹事を中心に対応します。

9月21日(金) からスタート予定 対応電話：210-1200/0120-090-050

## 第7回さっぽろ元気まつり

札幌地区連合が中心となって取り組む恒例のさっぽろ元気祭り（実行委主催・後援：札幌市、連合北海道、北海道労働福祉協議会、各新聞社、各放送局）は8月4日・5日に、中島公園自由広場で開かれました。

パートユニオン組合員は4日昼に中島公園に集合。地域の仲間とともに、楽しいひとときを過ごし交流を深めました。



## 北海道地域最低賃金 引き上げ答申

8月21日北海道地方最低賃金審議会(道幸哲也・放送大学教授)が、時給719円(14円引き上げ)とする答申を北海道労働局長に提出しました。

連合北海道は要請行動、集会や街頭宣伝などの諸行動を展開し、札幌パートユニオンの新野会長も街頭宣伝行動でアピールを行いました。

地域最低賃金は10月18日に改訂がされる予定ですが、北海道ではなお生活保護水準を16円も下回ります。フルタイムで働いたとしても支給額で12～3万円にしかならず、とても普通に生活できる額ではありません。よりいっそう労働者の側から声をあげていきましょう。



## あらの会長の二言三言

### 脱原発、なくせ格差と貧困！闘いの輪をさらに広げよう！

政権交代から3年、日本が変わるという期待のほとんどが幻滅に代わっています。

いまの野田内閣は、消費税先行で社会保障のあり方は先送り、福島の教訓と安全対策も未確立のまま原発の再稼働の容認、事故が多発し米軍自体が自兵の輸送に使わないオスプレイの配備を容認し、自民党、公明党に擦り寄っている状態であり極めて残念です。

格差と貧困が広がるなかで、いまの政権では、これらの問題に解決していこうという意思が見られず、保守一辺倒、資本家、金持ち階層優先の政策に突き進んでいるのではないかと思うほどです。

一方では、国民の政治不信と不満、いらだちを利用し、橋下大阪市長を中心とする維新の会は既成政党を攻撃し人気取りにつなげる動きに出ています。

しかも非正規労働者、貧困層の多くが橋下を支持していることに驚きを感じます。

橋下はメディアを有効に活用し、敵を公務員にしぼり、安定雇用の公務員をバッシングすることで、不安定雇用労働者からの支持を広げています。

橋下はもともと原発推進者、世論が脱原発に動く、これに迎合するなど常にマスコミに気を使います。これらの手法は、ナチスドイツの独裁者ヒットラーと同じであり、わかりやすさと断定で弱い敵を見つけ出して叩くものです。

橋下や維新の会は、市場競争原理主義、弱者切捨て、財界寄りであり、憲法改悪をめざすなど右翼的政治であり、けっして非正規労働者、貧困層の味方ではありません。

いまの日本政治の最大の悲劇は、リベラル、社会民主主義を掲げる政治勢力が少数であり発言力が弱いことです。欧州では、これらの政治勢力が大きな力を持ち、働く者の権利が保障されていて社会福祉政策が根づいています。

しかし、これからの政治の現状に悲観するものではありません。ここに来て市民一人一人が政治への訴えを起し直接行動のうねりとなって巻き起こっています。脱原発を求めて首相官邸を何万人の市民、労働者が包囲し、闘いの輪が大きく広がりをみせています。

我々は自信と確信をもって、働く者の生活と権利を守るために、命を最優先し互いに支えあう社会をつくっていくために、我々ひとりひとりが考えて、団結・連帯して将来にむかって前進をはかっていくことです。

コミュニティ・ユニオン全国集会在9月15日から2日間、京都で開催されます。

全国各地から、地域で活躍しているユニオンの活動家が一同に集まって、地域の悩みと苦勞を語り合い、職場と地域に密着したユニオン運動の質と力を高めていくために討議を深めて意思統一をはかっていきます。

10月9日(火)18時から「これでいいのか！有期労働・市民集会」自治労会館

10月13日(土)13時から「さよなら原発1万人集会」大通り西8丁目広場

当面、札幌パートユニオンとして、以上の集会には最大限の取組みを行ないます。



## ☆職場の問題解決の取り組み☆

# 不当解雇を断じて許さない！

農協の封建的労務管理を糾弾し、闘いの輪を広げていこう！

M農協の職員として17年間、Tさんは、まじめに働いてきました。

とりわけ共済の営業には、農家宅を熱心にまわって契約拡大に努力し空知管内の農協ではトップの成績をあげています。Tさんはバンド（音楽活動）が得意であり、地域貢献として各学校、各所に慰問して、大変に喜ばれています。M農協にはスーパー店も営業していますが、お客にバンドを披露しての宣伝を行い売り上げをのぼしたこともあります。

### 執拗なる嫌がらせで精神疾患

しかしM農協の一部幹部にはTさんの仕事ぶりやバンド活動に嫉妬をもっている者がいて、2009年ごろから、Tさんにひどい嫌がらせの言動をすることが出てきました。

嫌がらせがエスカレート、ついにTさんは精神疾患に罹ってしまう状態となりました。

ここの農協の幹部は、日頃、封建的な労務管理体制をもっていて、過去にもパワハラを受けて数名の職員が精神疾患に罹って職場を去っていく、なかには失踪者もいます。

Tさんは、2009年11月に札幌パートユニオンに加入し、パワハラ停止を要求しましたが、その後、職員総会において幹部のひとりが、名指しはしなかったものの、T組合員と札幌パートユニオンを執拗に誹謗する発言を行ない、その後も嫌がらせが続きました。

札幌パートユニオンとしては、2010年2月、北海道労働委員会に対し、T組合員に対する嫌がらせは労働組合法第7条不当労働行為に該当する違法行為として申立を行い、結果は労働委員会の調査の段階で「農協はコンプライアンス規定（パワハラ防止）を遵守する。」ことを確認して和解が成立しております。

### 悪質な不当労働行為、不当な自宅待機、最後は解雇の暴挙

ところが、2010年4月、農協はT組合員を呼びつけて、和解ですでに解決済みの件を持ち出し、北海道労働委員会に申し立てをしたことは処分に該当するとして、T組合員に対し農協に謝罪し、始末書の提出を求める処分を通告してきました。

北海道労働委員会に申し立てたことを理由に不利益な扱いを行なうことは、露骨な不当労働行為であり、再度、北海道労働委員会に対し、違法行為として申立を行いました。

その後、T組合員に対し精神疾患を理由にして、自宅待機、休職を命じてきました。

札幌パートユニオンとしては、T組合員の職場復帰を求めて農協と団体交渉を重ねてきており、T組合員の職場復帰をふまえて労働委員会への申立を取り下げています。

しかし農協が指定した病院に診断して「就労は可能である」との診断結果をうけているのに、診断結果を無視して、農協は職場復帰を認めませんでした。

このため札幌パートユニオンとしては職場復帰を求めて訴訟の準備を進めて、上田絵里弁護士に依頼し、弁護士から農協に職場復帰を求めたところ、突然として、今年の8月25日付でT組合員を解雇すると通告してきました。

このように、農協のT組合員に対する仕打ちは極めて乱暴であり、反社会的な行為であり、闘いも長期化していますが最後の勝利まで闘い抜いていきます。



## お知らせ

看板出てま〜す。

## ユニオン事務所が3階に移動。E V降りて、通路左側です。

事務所となる部屋は札幌地区ユニオンと同居で、今までと異なり大変自由に使えます。組合員みんなで工夫して、ミニ学習会や交流など気軽に活用していきましょう。

## これまで

- 6月5日(火) 札幌パートユニオン 第28期第1回幹事会  
 6月30日(土) 札幌パートユニオン 第28期第1回学習会 (ほくろうビル)  
 有期労働契約—労働契約法改正について 「労働運動の歴史」  
 講師：新野会長  
 8月2日(木) 札幌パートユニオン 第28期第2回幹事会  
 8月4日・5日 第7回さっぽろ元気まつり  
 8月11日(土) 札幌パートユニオン夏季セミナー  
 「市民が主役」の政治を取り戻す道民フォーラム (自治労会館)  
 8月25日(土) 「陽だまり154号」発行  
 8月中 ユニオン事務所が3階に移動予定

## これから

- 8月29日(水) 札幌パートユニオン夏季セミナー  
 札幌地区連合 なるほどセミナー第8回 18:30~ 自治労会館(北6西7)  
 「オスプレイ配備に見る日米軍事同盟」講師：前泊博盛さん(沖縄国際大学教授)  
 9月1日(土) 札幌パートユニオン 第28期第2回学習会  
 「脱原発を考える—脱原発運動の現状を知ろう。原発問題に対して思うことを出し合おう。」  
 18:00 ほくろうビル3階ユニオン新事務所に集合 20:00 交流会  
 10月9日(火) これでいいのか!有期労働・市民集会 18時~ 自治労会館  
 10月13日(土) さようなら原発北海道1万人集会 13時~ 大通り公園西8丁目広場  
 主催：さようなら原発1000万人アクション北海道実行委員会  
 集会とデモ行進 (終了後にユニオンの交流会かな?)

野田政権は、国民の反対の声を押し切り大飯原発を再稼働させた。その後に活断層の再調査をやると言いつつ稼働は止めない。そんなバカな!しかも「原子力基本法」を改正し「わが国の安全保障に資する」という目的を入れた。国の安全保障とはふつう軍事のこと。このことの意味するものは?  
 消費税増税。大企業減税はそのままで自民党と手を組み決めた。社会保険の保険料などの国民負担は増え、来年の予算では生活保護を減らすという。ムム、これが「いつたい改革」か!  
 増税の一方、日本の軍事費は今年度およそ4兆7千億円。財政危機でも大して減らず、在日米軍には5千億円(22年度)も拠出。日米安保同盟は強くなるばかり。  
 民主党政治の総括が近い。例年なら秋風が吹き始める盆過ぎなのに暑い日が続いた。原発反対運動は熱く続いている。政府による各種の調査でも、原発ゼロが大多数を占めた。ユニオンも力を入れて取り組みます。(Y)

くさくさ・じん・じん物